

あさか外来通信



歯が抜ける…？
ほんとは怖い!!

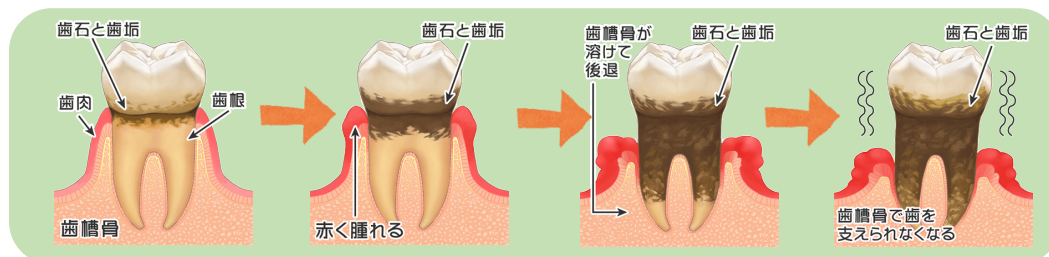
歯周病

H30.3月号

成人の約8割が患っていると言われている歯周病。実は、**歯を失ってしまう原因の第1位**と言われています。それだけではなく、歯周病を進行させる原因となる「**歯周病菌**」が増えると、「**心臓病**」「**肺炎**」「**糖尿病**」「**早産**」など、**全身の疾患にも影響を及ぼす**ということが分かっています。

そもそも歯周病とは…？

歯は、**歯ぐき**と、**歯槽骨(しろうこつ)**と呼ばれる**骨**に支えられています。歯周病が進行すると歯ぐきが後退し、歯槽骨が溶け、支えがなくなった歯はグラグラ揺れてきて、最終的には抜け落ちてしまいます。



歯周病は糖尿病などと同じ「慢性疾患」の一つで、**一度進行すると完全に元に戻すことは出来ない**と言われています。痛みや腫れなどの自覚症状がないことが多く、進行した歯周病に気付いた時には、もう抜歯せざるを得ない状況…という方も少なくありません。また、歯周病はしっかり治療を行えば、ご自身の歯を守るだけでなく、気になる「**口臭**」の改善にも繋がります。

「朝起きるとお口がネバネバしている」、「歯フロアを当てると歯ぐきから**出血**がみられる」「歯磨きをしているのに**お口の臭い**が気になる」という方は**要注意**ですよ！



歯周病の原因は？

歯磨き不足



喫煙・ストレス



お薬・妊娠



歯周病の1番の原因は、ご自身による歯磨き不足です！歯フロアがきちんと当たっていないお口の中には、**プラーク**（歯垢）と呼ばれる細菌の塊が残っています。プラークはそのまま放置していると**歯石**になり、**歯フロア**では**落とせなくなってしまいます**。

また、喫煙やストレスによる歯ぐきしり、お薬の副作用や妊娠によるホルモンバランスの変化でも、歯周病が進行することが分かっています。

歯周病の治療方法は？

汚れが原因の歯周病は、**歯石を除去**して歯ぐきの炎症を改善することを目指します。歯石は歯の表面だけではなく、歯と歯ぐきの間にも付着しますので、歯周病の進行を止めるには、**目に見えない汚れもしっかり取り除く**必要があります。



歯石の付着は、普段の歯磨きで防ぐことができます。歯科衛生士による**フッushing指導**では、歯磨きの際に「**しっかり汚れを落としきれているのか**」や「**どの部分にフロアが当たりづらいのか**」などをご説明させていただきます♪

「歯ぐきしり」や「かみ合わせ」が原因の場合には、就寝時に着用する**マウスピース**を作成したり、かみ合わせを調整して、負担軽減を図ります。

マウスピースは保険適用内です♪



当院では、**歯周病専門医**による治療も行っております。気になることがございましたらお気軽にご相談下さい。

過去の外来通信・医院についてはこちら

医療法人 寛友会
浅賀歯科医院

